

(臨床研究に関する公開情報)

相模原病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

クルミまたはカシューナッツアレルギー患者の感作の成立時期に関する臨床的検討

[研究責任者]

臨床研究センター 海老澤 元宏

[研究の背景]

近年、木の実アレルギーが急増しており、今では日本で三番目に多いのが木の実アレルギーです。日本では特にクルミアレルギーとカシューナッツアレルギーが多く、重篤なアレルギー症状（アナフィラキシー）を起こしてしまう患者さんも少なくありません。

アレルギーの原因となるアレルゲン（食物、花粉、ダニなど）は私たちの周りに多く存在します。私たちの体は、アレルゲンを異物として認識し、体を守るために「IgE抗体」を作ります。このIgE抗体が作られることを「感作」と呼びます。今までの研究では、木の実アレルギーの患者さんで感作が起きる時期はわかっていません。

本研究では即時型クルミまたはカシューナッツアレルギーの患者さんの感作が起きる時期を調査します。

[研究の目的]

小児の即時型クルミまたはカシューナッツアレルギー患者さんの感作が成立する時期を明らかにします。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2013年1月1日から2023年3月31日までに当院に通院歴があり、即時型クルミまたはカシューナッツアレルギーと診断されている患者さん。診断時の年齢が0歳から15歳で、幼児期から通院歴があり、クルミまたはカシューナッツの摂取による即時型症状の既往があり、他の疾患・アレルゲンによる症状の可能性が除外されている方。

●研究期間：院長承認後から西暦2025年3月31日

●利用する検体、診療情報

検体：発症前・発症時における血液検査の実施時日時（または実施時年齢）と結果（クルミまたはカシューナッツ特異的IgE値, Jug r 1 または Ana o 3 特異的IgE値, ハンノキ特異的IgE値、総IgE値）。発症前については、残血清検体があり、これ

国立病院機構相模原病院 情報公開用文書 作成日 2022年7月1日 第1.0版
らの項目が未測定であった場合は検査を追加します。

診療情報：発症年齢、性別、生年月日、アレルギー疾患の既往、アレルギー疾患の家族歴、分娩方法、乳児期の栄養方法、離乳食の開始時期、掃除機がけの頻度、発症前・発症後の患者さん及びご家族のクルミまたはカシューナッツの摂取状況

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

国立病院機構相模原病院

臨床研究センター 海老澤 元宏

電話 042-742-8311（代表） FAX 042-742-5314